



島教協

《 すべては「子どもたちのために」 》 情 報

http://www.kyougikai.org

E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 吉田 修 編集人 田中 勝 No.690

島教協 第五十七回 定期総会開催

五月二十七日（土）、ビッグハート出雲にて第五十七回島教協定期総会を開催しました。

来賓には、鴨木朗島根県教育長様、佐々木雄三県議会議員様、高見康裕県議会議員様、榎野信幸出雲市教育長様、井上真登全日教連事務局長様を迎え、多数の代議員・オブザーバーの出席を得て、盛大に執り行いました。

冒頭、吉田修会長は、「生き物の世界には二対六対一の法則があるそうです。二つの「二」は対極をなし、「六」はどちらかの勢力の強い方になびいていくというものです。例えば、細菌の世界。二割の善玉菌と二割の悪玉菌、そして六割の日和見菌がいます。善玉菌が強いと六割はそっちになびき、八割が善玉菌となります。それが「発酵」です。しかし、二割の悪玉菌が強いと六割はそっちになびき、八割が悪玉菌となります。それは「腐敗」です。

島教協はこの教育の世界で二割の善玉菌で居続けたいと考えます。

また、江戸時代には「稼ぎ三割、仕事七割」という言葉があったそうです。三割の方の「稼ぎ」とは今でいえば現金収入につながる業務のことで、七割の方の「仕事」というのは地域ボランティアのことです。壊れた橋があれば修理に行ったり、お年寄りの具合を見に行ったり、一銭にもならないけれど、人のため、地域のために一肌脱いで汗を流す、



これが七割を占めていました。一銭にもならないことだけれど、やがてそれは「徳積み」という形で本人に還元され、いい人間関係や商売繁盛につながっていききました。島教協の活動もこれに通じるところがあると思います。

島教協は「二割の善玉菌で居続ける決意」を持って、「稼ぎ三割、仕事七割」の精神で、「すべては子どもたちのために」のスローガンのもと、今年度も力強く活動を進めていきます。会員の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申しあげます。」とあいさつをしました。

その後、議長に広渡良さん（西田小）、記録に安田裕美子さん（出東小）、議事録署名に平川美紀さん（中央幼）を選出し、二十八年度の総括を報告し、二十八年度決算・二十九年度の活動方針活動計画・予算について、慎重に審議され、全て原案通り承認されました。



職員団体としては、会員がたくさん所属していることが重要であり、新規会員の獲得に向けて、学校現場での積極的な勧誘活動が必要です。学校代表・幼稚園代表の方はもとより会員お一人お一人が、未加入の方に対して加入の呼びかけをしていただき、一人でも多くの方に会員になっていただきますよう、ご協力をお願いします。

来賓祝辞

島根県教育長 鴨木 朗 様



島教協の皆様には、それぞれの学校において、しっかりと子どもたちに向き合い、細やかな配慮のもとで、一人一人の個性を大切にしながら丁寧に子どもたちを育むという、島根らしい教育の実践に心血を注いでいただいておりますことに對しまして、心より感謝と敬意を表する次第であります。

私は、微力ながら教育長の職責を果たしていく上で肝に銘じていることがあります。

一点目は、そもそも教育委員会は教育現場を支えるために存在している、という教育行政の原点を大切にすること。

二点目は、戦後採用された「レイマンコントリール」の仕組みを大切にすること。

三点目は、ばらばらになりがちな「学力観」についての基本認識を学校と教育委員会とが共有できるようにすること。

現場をより良く支えるためには、現場の事情や課題を正しく理解する必要があります。

私は、任命権者と職員団体との関係は、労使交渉の当事者同士という立場にあることを前提にしなければならぬと思っていますが、そのことに加えて、学校と教育委員会との間の双方のコミュニケーションを構成する貴重なチャンネルでもあると思っています。

島教協さまとの関係は、これまででもそうであったと思いますし、今後もそうであってほしいと期待しています。

現場の事情や課題をお聞かせいただきたい。その上に立って、県教育委員会の仕事の在り方を考えていきたい。これが、本日、皆様に率直にお伝えしたいことであります。

島根県議会議員 佐々木雄三 様



日頃の皆さん方の活動に対しまして、健全な活動をされているという事で、私も敬意を払っているところでございます。

様々な、時代も変わってきておりますし、課題も新たなものが出てきているというなかで、しっかりと地に足のついた活動をなさっているというところで、たいへん心強く思っておりますし、島教協の存在が島根県の立派な子どもを育む、その原動力になっていることを再認識いたしているところでございます。

今年度は必ず、島教協の役員の皆様方とそして地元の管内の県議会議員との懇談をする場を、ぜひ作って行きたいなと感じたところであります。

そうした活動を行うことによって、いささかなりとも皆さん方の活動にお役に立つ県議会となるうかと、あらためて思っております。ぜひそうしたところも、きょうの総会でお約束させていただきたいと思っております。

これからも島教協の存在の価値、役割・使命、大きなものが私はあると思います。結束されて、この地域のために、子どもたちのために頑張っていたいただきますように、心から祈念を申し上げてご挨拶とさせていただきます。

島根県議会議員 高見康裕 様



私は県議会議員になってからの二年間は、教育に関する質問をすることが多かったわけですが、これも、教職員協議会の皆様の教育専門職としての子どもと向き合うことが第一であると掲げておられる活動には、強く共感しているところでありまして、

これから皆様方の現場の生の声

が一つでも、一日も早く実現をして本当に大切な子どもと向き合う時間がたくさんでき、皆さんが存分に教育、教師の本来の職務に専念できるように、そのような環境を整えることに全力を尽くしていきたいと思っております。

最後になりますけれど、島根県教職員協議会の益々のご発展と本日ご列席の会員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、わたくしからのお祝いのごとばとさせていただきます。

出雲市教育長 槇野信幸 様



教育をめぐる情勢は加速的に変化しようとしていきます。

新しい小中学校学習指導要領、それから幼稚園教育要領が告示されました。最も心配しているのが外国語教育です。一単位時間をどうやって捻出するのか、指導体制はどうするのか、小学校の担任の三分の二が外国語教育に携わることになります。教員の皆さんも、そして私たち教育委員会も意識を変えて準備をしていかなければなりません。

また、特別の教科となった道徳については、読む道徳から考える道徳に、うまく転換できるかどうか心配されるところです。

この他にスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、これらの学校職員としての位置づけと拡充、さらに事務職員の校務運営参画の義務化、というようなこともありました。

そして国が教員の多忙化によりやく正面から取り組めたのではないかと期待をしています。業務改善や態勢の整備、働き方改革などが挙げられています。部活動の負担を大胆に軽減することが強調されています。

このように今後の教育情勢には不安と期待が交錯するわけですが、皆様方におかれましては、それぞれの学校における日々の教育活動はもとより、島根県教職員協議会の活動などを通して熱心に研究と実践に取り組み、幼稚園を含む学校教育を推進する中心的存在として活躍いただいていますことに、心から敬意を表します。こうした皆様の情熱と熱心な取組があれば、教育情勢がどのように変わっていくとも、子どもたちのためにより良い教育を研究実践していけるものと思っております。私たち行政も引き続き皆様との連携協働のもと、あらゆる制度変更や教育課題に取り組みでいきたいと思っております。今後ともご理解とご協力をよろしく願っています。

終わりになりましたがこの総会を契機に、島教協の活動が益々充実・活性化し、素晴らしい教育活動が各学校において展開されることを期待いたしますとともに、会員の皆様のご活躍を心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

全日教連事務局長 井上真登 様

(委員長祝辞代読)



島根県教職員協議会第五十七回定期総会が開催されますことを心より喜び申し上げます。島根県教職員協議会の皆様には、平素より全日本教職員連盟の諸活動に対しまして格別なるご理解ご協力を賜り、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

どんな崇高な教育施策であっても、それを実施するための教育環境が整わなければ、すべては絵に描いた餅になってしまう。次期学習指導要領に掲げられている理念を学校現場で実現するためには、さらなる教職員の充実をはじめとする教育環境の整備充実が絶対条件です。

教職員数の充実をはじめとするそのような豊かな教育環境の中で、全日教連と島教協に集う教育専門職であるわたくしたちは、自らの資質能力を磨き、子どもたちとしっかりと向き合い、我が国の将来を担う子どもたちのための教育により一層邁進することでしょう。

全日教連は、今年度も良識ある教職員団体として活動を推進します。そして、「美しい日本人の心」を育てるという理念を共有する島教協と手を携え、日本の教育正常化の道を前進します。今後とも島教協が島根県のみならず、我が国の教育振興のために一層ご尽力されますことをご期待申し上げます。

教育講演会 開催

講師 西川公平先生

五月二十日（土）、ビッグハート出雲にて教育講演会を開催しました。

教職員のメンタルヘルス対策について「自分で防ごうこころの風邪」を演題に、専門家の立場から、私たちは身近な問題としてどのような対応をとればよいとお話を伺いました。

「健康」とは、単に病気でないというだけでなく、身体的にも心理的にも社会的にも上手いことになっているような状態である。人間は、健康な面も、不健康な面も持ち合わせていて、それなりにバランスを取りながら日常生活を営んでいるが、発病すると、バランスが崩れ、以前は苦手であったことが病的な水準にまで悪化してしまう。

こころの病気は分かりにくい、ほとんど「うつ」と「不安」のことなので、「うつ」か「不安」をどちらかを経て、人はこころの病気になる。

うつ病の主要な症状は、身体症状と精神症状に分けられている。身体症状として患者が訴えるのは、疲労感と倦怠感が多く、寝られないとか首や肩が凝るが次いでいる。しかし医者が聞き出した症状で一番多いのは睡眠障害である。精神の症状を患者自らが言うことはあり得ないことであるが、医者が聞き出すと、一番多いのは意欲や興味の減退であり、仕事の能力の低下と続いている。しかし、抑うつ気分を患者自らが訴えるのは三割にすぎず、医者が聞き出しなくても七割にすぎない。「うつ病」については、うつ気分より、寝られているかどうか、意欲や興味を失っていないかどうか、仕事はかどっているかどうか



うかを考えた方がいい。精神科の受診率はとても低く、うつ病にかかっていることは誰も分からないことが一番多く、次に多いのは本人は悩んでいても誰にも相談しないことである。一般で見られるこころの病いは、気分障害であり、早期発見・治療をすれば治りがよい病気である。だから治療をすれば、個人としても楽になるし、学校としてもいろいろなミスが減って職場全体のパフォーマンスが上がる。

「うつ」を別の説明をすると、脳の機能障害である。したがって、発病は性格や努力は関係しない。ストレスは誘い水になるが、原因として考えることはない。ストレスを除いたら治るものではない。

うつ病の原因は大きく分けて社会・心理・生物学的な要因があり、複合的な要因が関係していることが原因の一つとされている。

ある状況において、気分や身体や思考（考え方）や行動の四つは同時に反応する。状況も気分も身体反応も自分では変えられないが、思考や行動は変えることができる。だから相手が考えや行動を変えることは望まずに、状況が変わることも望まず、自分が考えとか行動を変えていくことが、いやな気分を減らしていく方法である。

物事の考え方というのは、不快な気分に対してすぐく影響がある。それをほぐしていくには、起こった出来事を、誰かに話すと紙に書くとか、一回自分の外に出すことが大事である。

「うつ」の人への接し方は、指示的（アドバイス）に接するのではなく、受容と共感の気持ちで接することである。「うつ」の人は、「自分や回りや将来に対する否定」をしている。良いアドバイスがないから病気になるわけではないし、良いアドバイスがもらえたら病気が治るものでもない。アドバイスをしなない接し方でも病気が改善することは証明されている。

励ましや気晴らしは病気になる、あまり功は奏さない。少し自分で自分を受容できるように、そういった方向でやっていくと良い。受容する力はあっても損はないので、鍛えても良いのではない。

全日教連情勢報告

全日教連事務局長 井上真登氏

島教協定期総会に引き続き、全日教連の井上事務局長から、中央情勢報告と団体総合共済会各種制度についてのお話をお聞きました。

中央情勢報告については、

一 義務標準法が開催され、教育諸課題に対する教員の基礎定数化が実現

二 教員の業務改善に向けて、部活動指導員を学校におけるように学教法施行規則の一部を改正する省令

三 平成二十八年度特別支援教育に関する調査結果から、困難化する特別支援教育体制の拡充を

四 平成二十八年度英語教育実施状況調査の結果から、更なる小学校英語専科教員の充実に

五 平成二十八年度教員勤務実態調査の集計から、子供のためにいきいきと働ける職場環境の早期改善を

全日教連 全国アンケート

「教員免許更新制度の在り方について」調査結果から、教員免許更新制度の改善策を国に求めていく。

全日教連団体総合共済会の説明
「積立年金制度」の案内

毎月無理のない金額を積み立てることにより、将来の公的年金を補完する制度。



「訴訟費用保険」の案内
近年、民事訴訟で職員が訴えられるケースや、職員の行為に関する住民訴訟が増加している。

この保険は、業務上の行為に起因する訴訟が提起された場合、会員が負担される訴訟費用と法律上の損害賠償金について保険金を支払いする制度。

全日教連 第34回教育研究全国大会(山口大会)

開催日 : 8月5日(土)～6日(日)

大会会場: 山口県下関市 海峡メッセ・シーモールパレス

大会主題: 新しい時代を創造する力を育む教育実践

～高い志を持ち、主体的・協働的に学ぶ子供の育成を通して～

記念講演: 講師 株式会社A and Live代表取締役 高田 明 氏
(株式会社ジャパネットたかた創業者)

演題 「夢持ち続け日々精進」

分科会提案発表: 島教協担当 第2分科会「学習指導B」

提案者: 勝部 富士子 教諭(出雲市立大津小学校)

提案テーマ: 主体的・協働的な学びの力を伸ばす要約学習

旅程(2泊3日)

8/4(金) 出発(高速バス 広島経由 JR新幹線利用) 午後は観光も可能です

8/5(土) 教研大会1日目 9:00～17:20

(分科会A・分科会B・助言者ゼミナール)

8/6(日) 教研大会2日目 9:00～12:10(全体会・記念講演)

帰着(JR新幹線利用 広島経由 高速バス)

参加費 : お一人 5,000円

(交通費、宿泊費、食費込み)

教研大会の詳細や申し込み方法については、別途配布の文書をご覧ください。

参加申込の〆切 6月26日(月)



教研大会プレ発表会のご案内

山口大会に参加できない方や提案発表者のリハーサルとして、プレ発表会を行います。

プレ発表会へたくさんの参加をお願いします。詳細は別途配布の文書をご覧ください。

日時 7月23日(日) 10:00～11:30

会場 ビッグハート出雲 茶のスタジオ

島教協相互援助規定のご紹介

- ①結婚祝金の給付 5,000円
- ②出産祝金の給付 5,000円
- ③永年勤続祝金の給付 5,000円
- ④病氣見舞金の給付 5,000円
(傷病約1ヶ月の療養)
- ⑤災害見舞金の給付
(住宅又は家財の損害を受けたとき
程度に応じて)
- ⑥死亡弔慰金
(会員・会員配偶者死亡)

上記の規定に該当するときは、
ご本人または学校代表は、
事務局まで連絡をお願いします。
電話0853-22-7762

島教協会員証特典のご紹介

「T・ジョイ出雲」劇場売店にて
(ゆめタウン 出雲東館3階)

島教協会員証を提示すると

売店人気ナンバー1の
ポップコーンセット
(通常750円)を
ワンコイン(500円)で
購入できます!

ぜひ、
劇場売店へお立ち寄りください。
同伴者も同様の対応ができます。

新会員加入助成のご紹介

① 新規に会員が加入された場合
単組・支部と学校にそれぞれ
2,000円の加入助成金を支給
します。

(講師会員の加入助成金は、
単組・支部と学校にそれぞれ500
円です)

② 勧誘活動の助成

学校や専門部会において、新規
に会員を勧誘するための茶話会等
を行われる場合は、その経費の一
部を助成します。

島教協事務局までご相談くださ
い。